

図書館だより

○中央 ☎072-950-5501 (月)休館 ○丹比 ☎072-937-2355 (月)休館
 ○陵南の森 ☎072-952-2750 (月)休館 ○羽曳が丘 ☎072-957-5553 (月)休館
 ○東部 ☎072-950-2002 (月)休館
 ○古市 ☎072-958-0050 (月)休館 開館時間 10:00～17:30
 ○ブックステーションはびきのコロセラム ☎072-937-7210 (火)休(土)の 13:30～16:30 開館
 全館休館 毎月最終水曜(12月を除く・祝日の場合は翌日)

●開館時間 10:00～18:00 (中央は平日 10:00～20:00 土日祝 10:00～18:00)

おはなし会(6月)			今月の特集テーマ	
中央図書館	1日(日) 15日(日)	11:00～	一般	もっと知ろう!大阪のコト
	9日(日) 23日(日)	14:00～	児童	時間ってなあに
	15日(日)	15:00～	一般	むかしの大阪の話
陵南の森図書館	2日(日) 9日(日) 22日(日)	11:00～	一般	むかしの大阪の話
	15日(日)	15:00～	児童	父の日～いろんなおとうさん
	16日(日) 小さい子向き	11:00～		
	16日(日) 少し長いお話を聞ける子向き	11:30～		
東部図書館	12日(火)	10:30～	色・いろいろ	
丹比図書館	22日(土)	10:30～	やさいの本	
古市図書館	6月のおはなし会はありません		一般	コミックエッセイ
羽曳が丘図書館	8日(日) 22日(日)	11:00～	児童	“こわ～い”よ?
				湿っぽいおはなし

おはなしボランティア入門講座
 日時 6月6日・20日・7月4日・18日(木)
 10:00～12:00
 場所 中央図書館 会議室
 講師 桑原 絵里子さん
 協力 おはなしボランティアグループ「はびきの」
 定員 15人(先着順)
 申込 中央図書館にて受付(電話可)

大人のおはなし会
 大人から子どもまで、みんなでいっしょに楽しめるおはなし会です。
 日時 6月8日(土) 14:00
 場所 陵南の森公民館 2階視聴覚室
 内容 「100万回生きたねこ」
 「たかにさらわれた子」
 「てんしき」ほか
 出演 おはなしボランティアグループ「はびきの」
 事前申し込み不要、入場無料

図書館がしまってからのおはなし会
 日時 7月20日(土) 18:00～(1時間程度)
 場所 中央図書館内
 対象 小学3年生以上
 ※小学校・義務教育学校(前期課程)は保護者同伴
 定員 30人(中央25人・古市5人)
 申込 7月6日(土) 10:30～
 中央図書館・古市図書館の窓口にて受付(電話不可)

～図書館で映画を楽しもう～『わくわくドキドキ★ムービーシアター』
 日時 6月16日(日) 14:00～
 場所 LICはびきの1階映像セミナー室
 上映作品 『チャーリーズ・エンジェル(吹替版)』
 次回は8月に開催します!
 事前申し込み要・6月15日(土)までに電話(950-5501)または右の二次元コードからお申し込みください。



世界遺産登録5周年記念事業『夏休み!ハニハニ☆円筒大作戦』～まさかの円筒!?～
 日時 7月26日(金) 14:00～16:00
 場所 LICはびきの2階パソコン教室
 内容 ①円筒ハニワに関する講話
 ②紙ねんどでの円筒ハニワ作り
 定員 10組(先着順)
 対象 小学生以下(親子での参加可)
 事前申し込み要・中央図書館に来館または電話受付開始日
 6月20日(木) 先行受付(緑色の図書館利用カードをお持ちの方)
 窓口10:00～ 電話13:00～
 6月27日(木) 一般受付
 窓口10:00～ 電話13:00～



臨時休館のお知らせ ブックステーションはびきのコロセラムは、羽曳野市長選挙及び羽曳野市議会議員補欠選挙の期日前投票所となるため、6月25日(火)から7月8日(月)まで臨時休館させていただきます。

サラバボール

みなさんはこのような経験をしたことはありませんか?

- 「親が単身赴任中」と聞いて父親だと想像する
- 車いすユーザー本人ではなく付き添いの人に物事を説明する
- 外国人の方に「日本語お上手ですね」と言う

これらの言動は親切心から行われているものなのかもしれません。褒めて喜ばれ、感謝されることもあるでしょう。しかし、自身の偏見や思い込みが原因で、相手を傷つけてしまう可能性もあります。

私たちは、過去の経験や見聞きしたことに影響を受けて、無意識のうちに偏見や思い込みとなって思想に反映する傾向があります。

それが言葉や態度に現れ、否定的な

メッセージとなって伝わり、意図せず誰かを傷つけてしまうかもしれません。

このように日常的に起こりうる、無意識のうちに相手を傷つける言動のことを「マイクロアグレッション」と言いますが、本人に悪意があるわけではなく、否定的な言動をしているという意識はありません。

自覚がない分「些細な行動」や「日常のひと言」に思い込みは表れやすいものです。それは良好な、親しい関係の中でも起こりうるものです。

無意識がゆえに、自分ではなかなか気づけないかもしれません。しかし、自身が発した言葉で相手の表情が曇ったり、声のトーンが変わったりするなどの「サイン」を敏感に察知し、自身の偏見や思い込みに気づくことは可能なのではないのでしょうか。

日本には、外国籍の方やミックスルーツの方、障害のある方など様々な

かた方がいらっしゃいます。LGBTQの方の割合は10%前後いるともいわれており、これは、左利きの人と同じくらいの割合だそうです。

このように、すでに私たちは多様な社会の中で生きています。

もしかしたら悪意なく人を傷つけているかもしれない、そのように意識したうえで、「誰もが被害者にも加害者にもなる」ことを理解し、様々な事柄に対して自分事として考えることが大切なのではないかと思えます。

例えば「こんなことを聞いて気を悪くされるかもしれないけれど…」と前置きするなど、他者を尊重し、相手に対する想像力と共感力を持って接すること、そして相手の話に耳を傾けるよう、心がけてみてはいかがですか。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会